※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	情報Ⅰ Next　（数研出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では、社会の基盤となっている情報技術に関して、利用者としてのモラルや、効果的な利用方法を学びます。
授業内で設定された問題を解決していく過程で、情報機器の利用方法や、他者とのコミュニケーション方法といった具体的な情報技術も身につけましょう。

２　学習の到達目標

知識及び技能：学習活動に用いる機器やシステムの利用技能を身につける。次の内容を理解している（情報とその特性。問題解決に関わる情報の活用方法。情報に関する法律・マナー。セキュリティ。メディアの歴史。情報デザインの科学的根拠。コンピュータの科学的な動作原理。ネットワークの構成要素）

思考・判断・表現：次の内容を説明できる。（問題解決に関わる情報の活用方法。違法事例の根拠と自らの意見。自らの作品における、配色配置等のデザインに関する設定理由。画像・動画のデータサイズ。身近な 2 進数と 16 進数。ネットワークでデータ通信ができる理由）
次の作品を作成できる（自らが定めたテーマについて、調べ・まとめた、印刷し掲示できる作品。ピクトグラム。アルゴリズム）

学びに向かう力、人間性等：授業中の発問に対して、意欲的に発言する。グループワークに対して、意欲的に参加する。他者の作品を適切に評価する。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	学習活動に用いる機器やシステムの利用技能を身につけている。 それぞれの単元で学習した内容を理解し、記憶している。	主に作品等を作成する学習活動を通して、自らの考えを示すことができる。	学習活動に、積極的に参加している。 他者の意見や作品に対して、適切に評価できる。 集団での学習活動において、自らの役割を理解し、集団の目標達成に向けて努力できている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	情報とメディア	情報とは何かを考える中で、伝達する手法や生活の中で活用する方法を考え、学ぶ。また、情報社会における法と責任について考え、学ぶ	a:次の内容を理解している。情報とその特性。問題解決に関わる活用方法。法やマナー。セキュリティ。 b:次の内容を説明できる。問題を発見し、解決するために情報をどのように扱うか。事例等に対する、法やマナーについての自らの意見。 c:授業中の発問に対して、意欲的に発言している。グループワークに対して、意欲的に参加できている。	考査 課題	考査 GW 課題	発問 GW
	情報コミュニケーション	他者とのコミュニケーションにおいて、情報技術の果たす役割とその手法について考え、学ぶ	a:ディアの歴史とそれぞれの特性について理解している。 b:次の内容を説明・作成できる。目的に適したメディアの選択について。自ら定めたテーマについて、調べ・まとめた、印刷し掲示できる作品。 c: 授業中の発問に対して、意欲的に発言している。他者の作品等を適切に評価できる。グループワークに対して、意欲的に参加できている。	考査 課題	考査 GW 課題	発問 GW
二学期	情報デザイン	社会にあふれる様々なデザインについて、その目的や構成について学ぶ。	a:次の内容を理解している。文字や画像などの配置による認知の違い。文字などの配色による認知の違い。ユニバーサルデザインについて。 b:自らの作品を作成し、なぜこの配色配置にしたのか説明できる。他者の作品に対し、配色配置の意図についての予測を説明できる。 c: 授業中の発問に対して、意欲的に発言している。他者の作品等を適切に評価できる。	考査 課題	考査 課題	発問

※令和４年度以降入学生用

	デジタル表現	コンピュータ内の処理について学び、デジタル作品等について、科学的な根拠に基づく説明等を行う。	a:次の内容を理解している。コンピュータの構成要素。2 進数と 16 進数。文字、画像、音声、動画のデジタル表現。 b:次の内容を説明できる。日常的に目にする 2 進数・16 進数にまつわる数について。動画のデータサイズについて。 c: 授業中の発問に対して、意欲的に発言している。	考査 課題	考査	発問
三学期	プログラム	アルゴリズムをくみたて、それを基にコーディングを行う。	a:次の内容を理解している。コンピュータがプログラムに基づき動作していること。プログラムの三原則。 b:アルゴリズムを作成し、説明できる。他者のアルゴリズムを見て、説明できる。 c: 授業中の発問に対して、意欲的に発言している。他者の作品を適切に評価できる。	考査 課題	考査 課題	発問
	ネットワークの利用	ネットワークを構築する要件を学び、紙面やコンピュータを用いてネットワークを構築する。	a:次の内容を理解している。ネットワークの構成要素。TCP 及び IP の基本的な内容。 b:次の内容を説明できる。インターネットでデータ通信ができる理由。 c: 授業中の発問に対して、意欲的に発言している。グループワークに対して、意欲的に参加できている。	考査 課題	GW	発問 GW

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度